

製品タイプ		Advance	Standard	Entry	備考
相当する従前 (Ver.4.8以前) のラインナップ		フルライセンス版 +相互作用	フルライセンス版	5ライセンス版 +持参薬・鑑別 +院内製剤	
基本機能・仕様	1 持参薬管理表作成(※1)・薬剤鑑別	○	○	○	
	2 服薬チェックシート出力(※1)	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	3 相互作用検索	○	×	×	
	4 ハイリスク薬情報	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	5 薬理作用別薬効分類検索	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	6 後発品・同効薬検索	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	7 インタビューフォーム掲載	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	8 患者向医薬品ガイド掲載	○	○	○	Ver.5.1から新規搭載
	9 Index検索	○	○	○	
	10 詳細検索	○	○	○	
	11 全文検索	○	○	○	
	12 経過措置情報	○	○	○	
	13 検索結果ファイル出力	○	○	○	
	14 PDF医薬品集作成機能	○	○	○	
	15 HISからの添付文書参照	○	○	○	
	16 お知らせ掲示板	○	○	○	
	17 MEDIS形式準拠ファイル作成	○	○	○	
	18 院内製剤登録管理	○	○	○	
	19 同時ログイン数制限	無	無	有(※2)	(※2)同時ログインは5クライアント迄。
初期費用	1 JUS D.I.プログラム本体	3,200,000	2,000,000	860,000	
	2 PCサーバー	250,000～	250,000～	250,000～	
	3 サーバー構築及び初期セットアップ	別途	別途	別途	
	4 持参薬管理票、服薬チェックシートカスタマイズ	150,000	150,000	150,000	(※1)希望される場合のみ
	5 データ取得用PC	150,000	150,000	150,000	必要な場合のみ(※3)
	6 概算合計	3,900,000～	2,500,000～	1,300,000～	
運用費	1 UOファイル配信料(月額)	60,000	60,000	35,000	データ更新用設定ファイルの配信
	2 相互作用データ配信料(月額)	36,000	—	—	
	3 合計	96,000	60,000	35,000	

製品タイプ 変更費用	1 Entry → Standard	1,500,000
	2 Standard → Advance	1,500,000
	3 Entry → Advance	2,800,000
	4 製品タイプ変更作業費	別途

特記事項

- ・(※1)Ver.5.1より、一定の範囲内で簡易カスタマイズが有料で可能になりました。
- ・上記製品タイプ変更費用は、原則として平成20年1月18日以降に新ラインナップで新規導入されたユーザーに適用されます。従前のタイプから新ラインナップへの製品タイプ変更は、旧タイプの価格と相当する新ラインナップとの差額となります。
- ・システム構築にはハードウェアが必要です。お客様の使用環境に応じた機種選択のご提案をさせていただきます。なお、JUS D.I.サーバーをインターネットに接続できない場合、インターネットに接続して更新データの取得を行うためのパソコン(※3)が別途必要になる場合があります。
- ・著しい物価変動があった場合、契約済みのUOファイル月額費用を契約更新時に見直すこともあります。